

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「ベトナム」



第18号(2009年3月24日)

ベトナムの基本情報

ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する南北に長い国で、国の最北端から最南端までは1,650kmあります。東は南シナ海に面しており、北は中国、西はラオス・カンボジアと国境を接しています。ベトナムは山岳地帯や肥沃なメコンデルタ、美しい海岸線を持つビーチなどバラエティに富んだ自然や5つの世界遺産を有しており、観光地としても人気があります。ベトナムは熱帯地域に属しているため、気候は一年を通じて高温多湿です。農業国であるベトナムの主要作物は米であり、ベトナムの人々は米を主食としています。米粉から作られるライスヌードル「フォー」はベトナムを代表する食べ物であり、日本やその他の国々でも広く食べられています。

- 首都： ハノイ
- 面積： 329,241km²
- 人口： 8,520万人(2007年)
- 言語： ベトナム語
- 宗教： 仏教(80%)、カトリック、カオダイ教、他
- 政体： 社会主義共和国
- 一人あたりGDP： 818米ドル(2007年)
- 経済成長率： 8.48%(2007年)
- 主要産業： 農林水産業、鉱業、軽工業



ライスヌードル「フォー」

出所:ベトナム大使館、外務省

大使館情報

- 正式名称： ベトナム社会主義共和国駐日大使館
- 所在地： 東京都渋谷区元代々木町50-11
- 面会者： ダオ・クワン・ロイ商務官



ダオ・クワン・ロイ商務官

今回お話を伺ったのは、ベトナム大使館商務部の
ダオ・クワン・ロイ商務官です。ロイ商務官は
日本語も大変堪能で、ベトナムの経済について
わかりやすく教えて下さいました。

(2008年11月26日に訪問)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



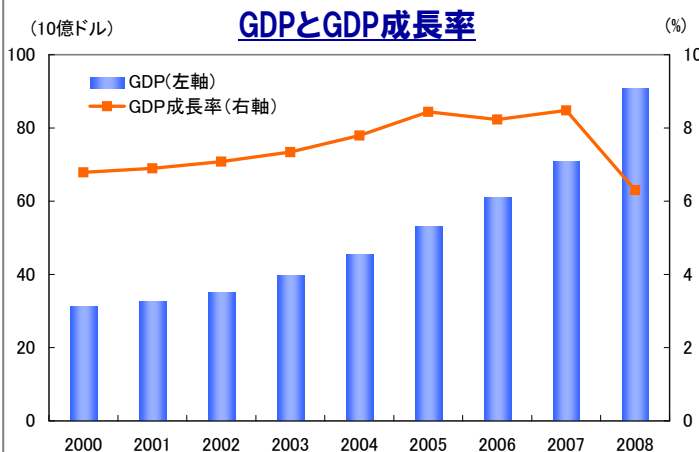
『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「ベトナム」

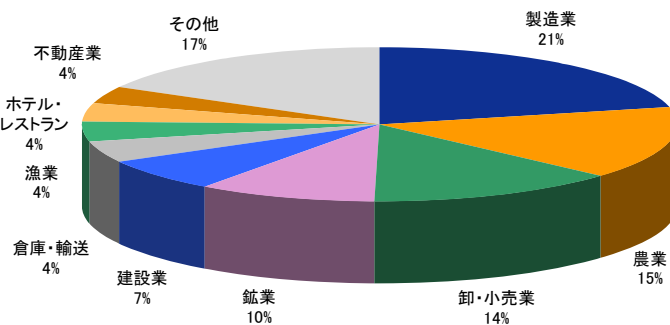
経済の概況



ベトナム経済は2000年以降**年平均7%以上**の高い成長を続けてきましたが、2008年は世界経済悪化の影響を受け、成長率が**6.2%**に鈍化しました。特に落ち込みが大きかったのは建設業で、農林水産業やサービス産業は比較的堅調でした。

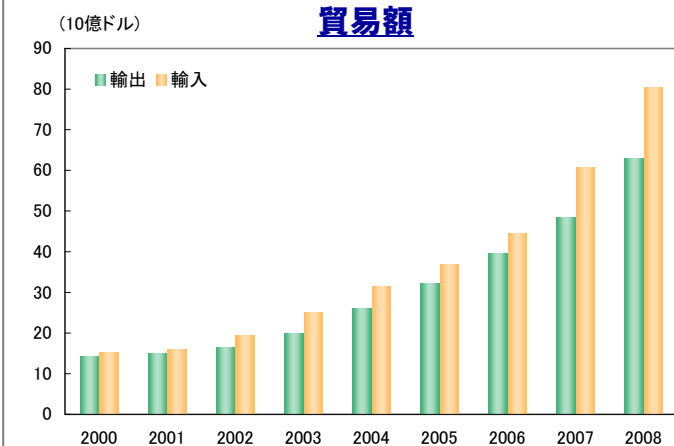
出所: IMF、ベトナム統計局

GDPの産業別構成比 (2007年)



ベトナムの主要産業は**製造業**と**農業**です。しかし、2000年以降は徐々に**製造業**や**建設業**の構成比が増加し、その一方で**農業**の構成比は減少してきています。なお、サービス産業の構成比はほぼ一定でほとんど変化していません。

出所: ベトナム統計局



ベトナム経済の発展に伴い、**対外貿易額は年々増加**し続けており、2008年の輸出額は**約629億ドル**(対前年比**29.5%増**)、輸入額は**約804億ドル**(同**28.3%増**)となりました。特に石油製品などの原材料や、自動車など**資本財の輸入**が増加しており、貿易赤字額も拡大しています。

出所: ブルームバーグ、ベトナム統計局



2008年のCPIは、**対前年末比19.9%増**となりました。前半はCPIの4割を占める食品価格の高騰を背景にインフレが進みましたが、後半は米などの食品価格や原油・原材料などの国際価格が下落したことにより、CPIも下落に転じました。

出所: ブルームバーグ、ベトナム統計局



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』



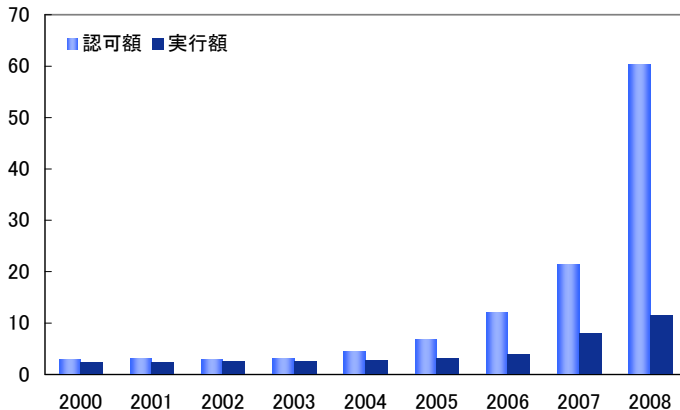
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「ベトナム」

投資環境

(10億ドル)

海外直接投資 (FDI)



2008年の新規FDI認可額は大幅に増え、対前年比約3倍の約603億ドルとなりました。これは、第一次ベトナム投資ブームの1996年に記録した額の実に6倍以上の水準です。また、FDI実行額は同43.2%増の約115億ドルでした。

出所:ブルームバーグ、ベトナム統計局

国別、分野別の主な海外直接投資 (2008年1月-9月)

| 出資企業の本社 所在国・地域 | 分野 | 投資額 (億ドル) |
|-------------------|----------|--------------|
| マレーシア | 製鉄所 | 98 |
| 台湾 | 製鉄所 | 78 |
| 日本/クウェート | 製油所 | 62 |
| ブルネイ | リゾート開発 | 43 |
| カナダ | リゾート開発 | 42 |
| タイ | 石油化学プラント | 37 |
| マレーシア | 学園都市開発 | 35 |
| 英国 | リゾート開発 | 16 |
| 米国 | リゾート開発 | 13 |
| シンガポール | 工業団地開発 | 12 |

2008年は、単独の案件では過去最大規模となるマレーシアのライオングループによる製鉄所建設をはじめ、日本の出光興産・三井化学とクウェート国際石油による製油所建設など、資本集約型の大型投資案件の認可が急増しました。また、ゴルフ場開発などの大型リゾート開発案件も増加しています。

出所:各種報道情報を基に当社が作成

小売売上高 (対前年同月比%)



国民の一人当たり所得の上昇(都市部は1,700-1,800ドル)に伴い、ベトナムの小売売上高は急速に伸びています。人口約8,500万人のベトナムは経済成長に伴い今後巨大な消費市場に成長すると見込まれています。

出所:ブルームバーグ、ベトナム統計局

外資への市場開放

<WTO加盟時の主な合意事項>

- 関税率の引き下げ
- 外資系企業のサービス分野参入の自由化
- 金融、小売市場(2009年1月~)の全面開放

ベトナム政府はWTO加盟時(2007年1月)の合意に基づき、外資系企業のサービス分野への参入を原則自由化しました。これに伴い、外資100%出資の銀行設立が可能となり、すでに英銀大手のHSBCとスタンダード・チャータード銀行が全額出資子会社の設立認可を受けています。また、今後の成長が予想される小売市場においても、すでに韓国のロッテが大型SCのベトナム1号店を出店しており、今後も外国企業の進出が加速すると予想されています。

出所:各種報道情報を基に当社が作成



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

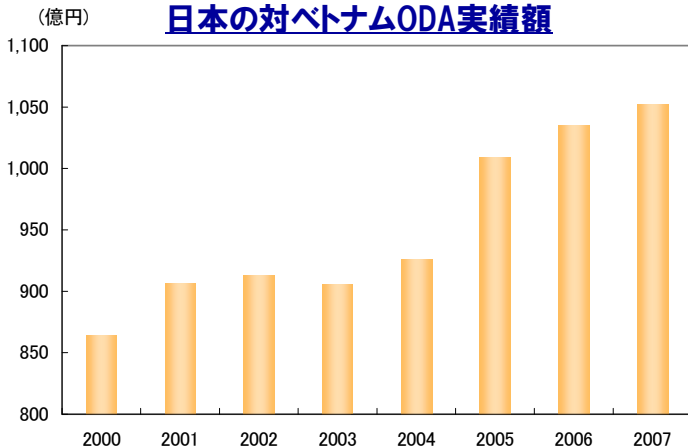


各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「ベトナム」

インフラ整備

日本の対ベトナムODA実績額



出所: 在ベトナム日本国大使館

ベトナムはこれまで高い経済成長を続けてきましたが、国内のインフラはまだ不十分であり、港や道路、発電所、病院、学校などの建設に外国政府の資金援助や外国企業の協力を必要としています。日本政府はベトナムに対して積極的にODA(政府開発援助)を行っており、2007年には約1,050億円の支援を行っています。2007年までの累計金額(有償、無償、技術協力)は、約1兆5千億円に達しています。

日本による主な経済協力案件(2007-2009年)

| 案件 | 概要 |
|-------------------|-----------------------------|
| 南北高速鉄道建設計画 | ハノイ-ホーチミン間を結ぶ高速鉄道の建設 |
| 南北高速道路建設計画 | 国土を南北に縦貫する高速道路の建設 |
| ニャットン橋建設計画 | 紅河を渡る橋梁の建設 |
| カー峠トンネル建設計画 | フーエン省とカインホア省を結ぶ5.5kmのトンネル建設 |
| ノイバイ空港第2ターミナル建設計画 | ノイバイ空港への新ターミナル建設 |
| ニンビン火力発電所拡張計画 | ニンビン火力発電所の300MW(石炭焚き)の能力増強 |
| ニョクエ水力発電所 | ハザン省への水力発電所建設 |
| ハノイ市下水処理場建設計画 | ハノイ市における大規模下水処理場の建設 |

出所: 在ベトナム日本国大使館

日本からのODAは、ハノイ-ホーチミン間を結ぶ南北高速鉄道の建設や橋梁、トンネルの建設、火力・水力発電所や下水処理場の建設など、様々な分野のインフラ整備事業に活用されています。

域内道路網の整備



出所: 各種報道情報を基に当社が作成

ベトナムやタイなどメコン地域の国々では、地域経済圏の構築を目指して道路網の整備が急ピッチで進められています。

ミャンマー、タイ、ラオス、ベトナム4カ国を横断する「東西回廊」(全長約1,450km)はすでに開通しており、メコン経済圏の大動脈として広域的な物流の改善に大きく貢献しています。さらに現在、バンコク(タイ)-ホーチミン(ベトナム)間を結ぶ第2東西回廊の建設も予定されており、これが完成すればメコン地域の域内経済活動がさらに活発化することになりそうです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



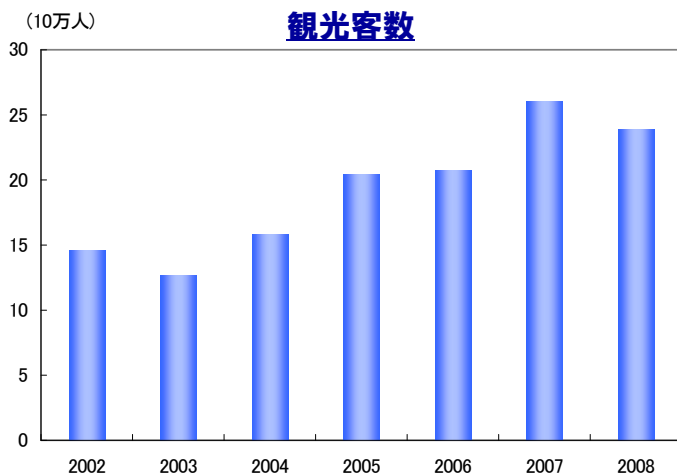
『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「ベトナム」

観光産業



出所:ブルームバーグ、ベトナム統計局、各種報道

外国からの観光客数は2003年以降順調に増加してきましたが、2008年は世界的な不況の影響を受け、対前年比で約8%減少しました。

主要な市場である日本、韓国、台湾などからの観光客数が減少しており、この傾向は今後もしばらく続くと予想されています。

こうした状況を受けて、ベトナムの航空会社、旅行会社などはベトナム観光の競争力を回復させる策として、各種料金の引き下げを実施することで合意しました。また、海外でベトナム観光のPR活動を実施することなどを予定しています。

ベトナムの主な観光スポット



ハロン湾

千以上の巨大な岩が海面から突き出している、神秘的な雰囲気のある湾。かつて龍が降り立って敵の侵略を防いだという言い伝えがある。



ホーチミン

かつては「東洋のバリ」と呼ばれた、ベトナムの商業の中心地。「聖母マリア教会」など、壮麗な西洋の建造物も多い。



フエ

1945年の滅亡まで、およそ150年間に渡って栄えたベトナム最後の王朝、グエン朝の都があった都市。



メコンデルタ

世界最大級の河川「メコン川」をボートに乗って体験するメコンクルーズでは、ジャングルのような巨大な湿地帯や水上マーケットなどが見られる。

出所:ベトナム政府観光局

訪問を終えて

中国の急速な経済発展に伴い中国における生産コストが上昇する中、その中国に代わる輸出・生産拠点としてベトナムが世界の注目を集めています。現在は他のアジア諸国と同様世界同時不況の影響に苦しむベトナムですが、今後世界経済が回復に向かい、域内や国内のインフラ整備がさらに進めば、ベトナムの輸出・生産拠点としての注目度がますます高まりそうです。消費市場としての魅力も兼ね備えたベトナムは、今後が非常に楽しみな国の一つです。



(これらは全て2008年12月末現在の情報です)

取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。